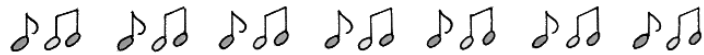




## 「ぷくちゃんのすてきなパンツ」

作 ひろかわ さえこ  
アリス館



おむつが取れて今日からパンツのぷくちゃんは、おもしろい失敗ばかり・・・でも「だいじょうぶ」!! おかわりパンツ、たくさんあるよ (\* ^ ^ \*) ぷくちゃんがトイレトレーニングを嫌がらずにがんばれたのはお母さんの優しい笑顔と素敵なパンツのおかげです。

ぷくちゃんはパンツになってとってもご機嫌☆☆☆

そろそろトイレトレーニングを考えているお母さん。一度、手にとって読んでみてくださいね! トイレトレーニングが楽しくなるかもしれませんよ♪



## 手づかみ食べの大切さ

9~11 カ月ごろ、自分から食べ物を手でつかんで口に運ぶような様子が見られたら、手づかみ食べをさせてあげると、のちのちスプーンやフォークを上手に持てることにつながったり、食への関心が増えてなんでもよく食べるようになったりと、赤ちゃんの成長にうれしいことがたくさんあるといわれています。

さらに、手づかみ食べは赤ちゃんの脳の発達にもいい影響があるそうです。手と口をたくさん動かす手づかみ食べで、脳の広い範囲を刺激するのだとか。

では、手づかみ食べを始める目安ですが、歯ぐきでつぶせるかたさの固形の離乳食（茹でたにんじん、食パン、バナナなど）が食べられるようになるころ（個人差はありますが、8 カ月~9 カ月ごろ）で、おもちゃなどを手でつかむことができ、自ら食べ物に触ろうとするしぐさも見られるころです。

また、手がべたつくのが苦手で、手づかみ食べに積極的ではないあかちゃんもいます。その場合は無理強いせず、手がべたつかないようなメニューを用意して見守りましょう。

赤ちゃんの「自分でやってみたい」気持ちをサポートして、「自分でできた」という楽しい気持ちをたくさん経験させてあげましょう! そのために、赤ちゃんの体とテーブルの高さを調節する、こぼしても大丈夫なように新聞紙やシートを敷いておくなど、赤ちゃんが手づかみ食べをしやすい環境を整えてあげることも大切です。

食べ物をうまくつかめずこぼしてしまったり、食べ物とそうではないものの区別がつかず投げてしまったりすることがあることも・・・。そんな後片付けが大変な手づかみ食べで、おとなのほうに慌てたり、困った顔をしたりしてしまうと、赤ちゃんの意欲が低くなることもあります。

「手づかみ食べ」の行動に、悩みや不安をもつ方に、参考にしていただけましたら嬉しいです。

## はびきの子育てネット



携帯サイトQRコード



子育て支援センター

「はびきの子育てネット」は子育てに役立つ情報が満載で、子育て中の方を応援するサイトです。

